

名古屋市中央卸売市場

流通量推計調査報告書(第11回)

■ 調査の趣旨及び方法

この調査は、名古屋市中央卸売市場で取引される生鮮食料品について、供給先・供給量の状況を把握し市場運営の参考にするため、卸売業者・仲卸業者の協力を得て、調査票若しくは電子データにより回答いただいたものを集計した。

■ 調査対象者及び回収状況

名古屋市中央卸売市場本場、北部市場及び南部市場における下記の業者

▼卸売業者（青果・水産物・食肉） … 回収状況 100.0%

▼仲卸業者（青果・水産物） … 回収状況 100.0%

青果 本場 100.0%、北部市場 100.0%

水産物 本場 100.0%、北部市場 100.0%

■ 調査実施日

青果・水産物 令和3年9月 9日（木） [第2木曜日]
食肉 令和3年8月30日（月）～9月10日（金）

■ 調査内容

▼供給地域（調査対象者が販売した相手方の営業所の所在地）

◇名古屋市・豊山町（名古屋市中央卸売市場の所在地）

◇愛知県（名古屋市・豊山町を除く）

◇岐阜県・三重県

◇中部6県（静岡県・長野県・滋賀県・福井県・石川県・富山県）

◇その他

▼供給先業種（調査対象者が販売した相手方の業種）

◇一般小売店 （青果・鮮魚等専門小売店、売場面積250㎡未満の業者）

◇大型小売店 （売場面積250㎡以上のスーパー、百貨店、生協）

◇大口需要者 （給食業者、飲食業者）

◇問屋 （卸売業者、仲買業者）

◇その他の事業者（加工業者など）

▼調査対象者が販売した品目とその数量

◇青果物 野菜・果実

◇水産物 生鮮水産物・冷凍水産物・加工水産物

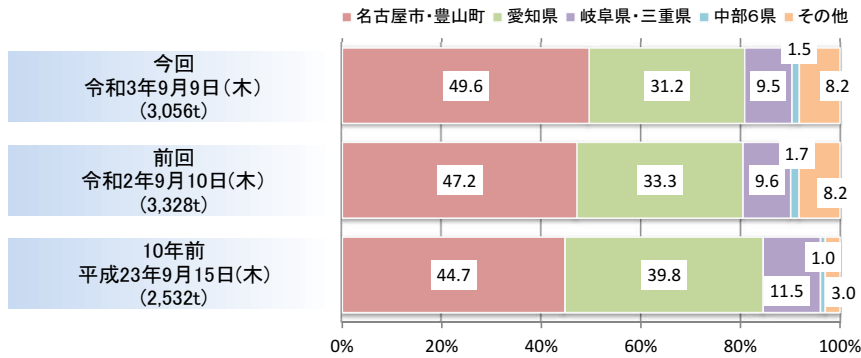
◇食肉 牛・豚

■ 報告書上の数字についての注意

端数を四捨五入で処理しているため、パーセンテージの合計が100.0%にならないことなどがある。

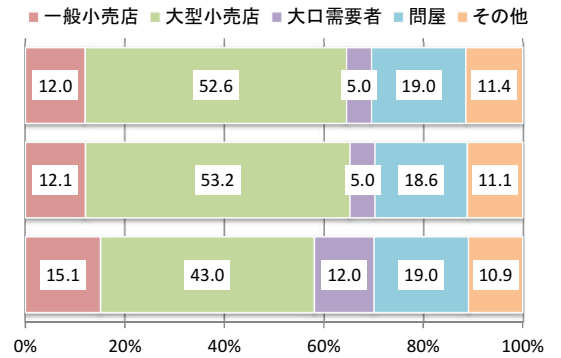
青果物(野菜・果実)の供給地域及び供給先業種

■ 青果物の供給地域



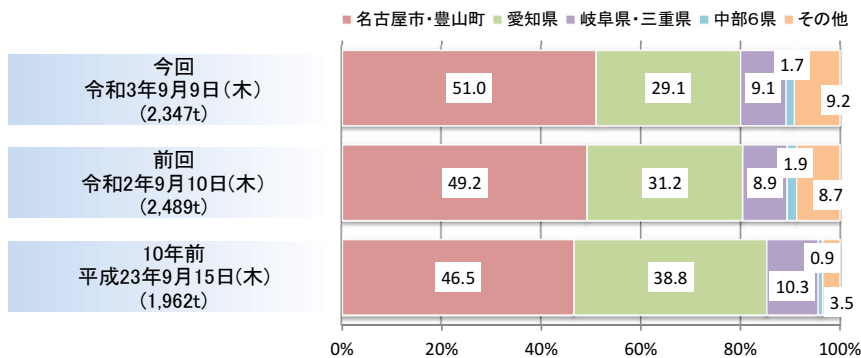
○10年前も今回も、名古屋市・豊山町および愛知県への供給が約8割となっている。名古屋市・豊山町への供給割合が増えている。

● 青果物の供給先業種



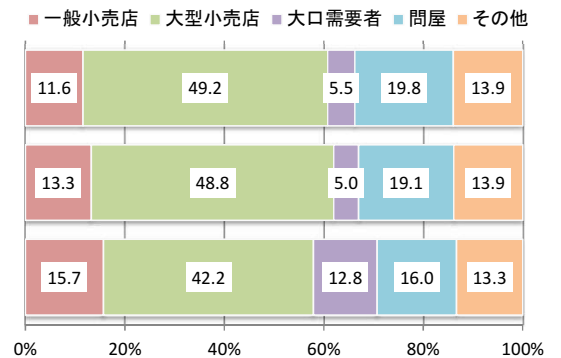
○10年前と比較して、一般小売店への供給の割合が減り、大型小売店への供給の割合が増えている。

□ 野菜の供給地域



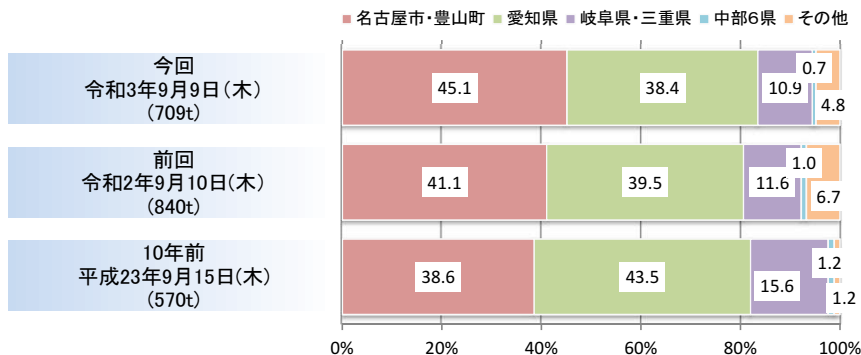
○10年前も今回も、名古屋市・豊山町および愛知県への供給が約8割となっている。名古屋市・豊山町への供給割合が増えている。

○ 野菜の供給先業種



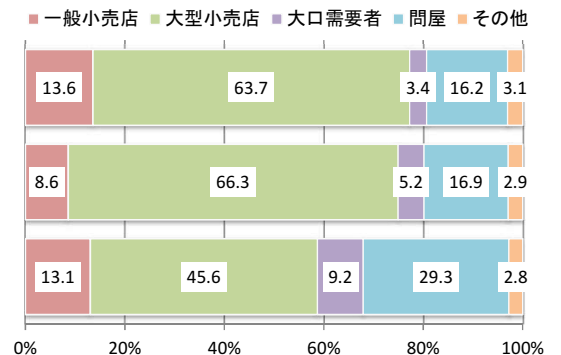
○10年前と比較して、一般小売店への供給の割合が減り、大型小売店への供給の割合が増えている。

□ 果実の供給地域



○10年前も今回も、名古屋市・豊山町および愛知県への供給が約8割となっている。名古屋市・豊山町への供給割合が増えている。

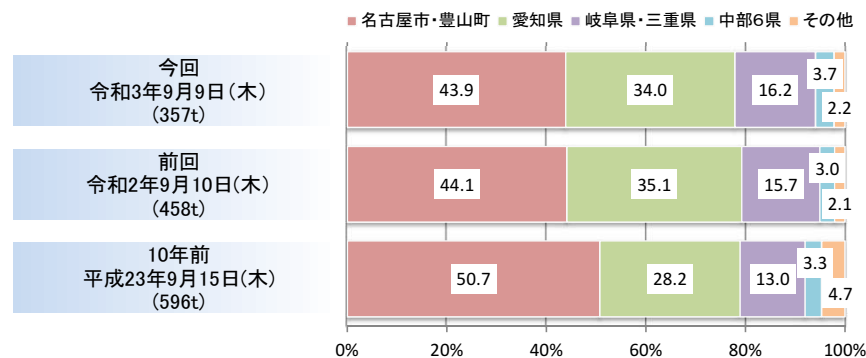
○ 果実の供給先業種



○10年前と比較して、大型小売店への供給の割合が増えている。問屋への供給割合は減ってきている。

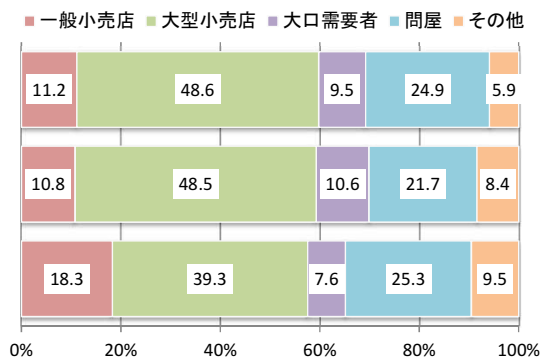
水産物(生鮮・冷凍・加工)の供給地域及び供給先業種

■ 水産物の供給地域



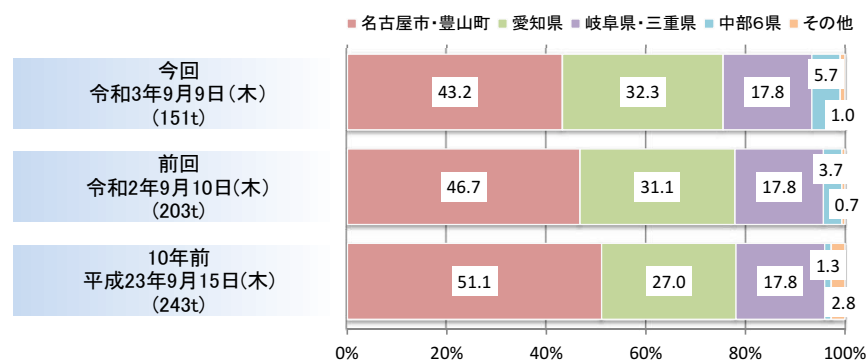
○10年前も今回も、名古屋市・豊山町及び愛知県への供給が約8割となっている。
○名古屋市・豊山町への供給割合が若干減っている。

● 水産物の供給先業種



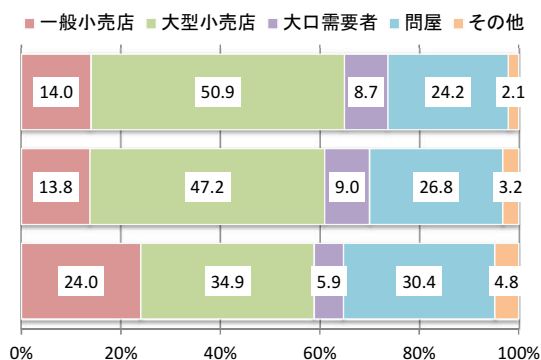
○10年前と比較して、一般小売店への供給の割合が減っており、大型小売店への供給の割合が増えている。

□ 生鮮水産物の供給地域



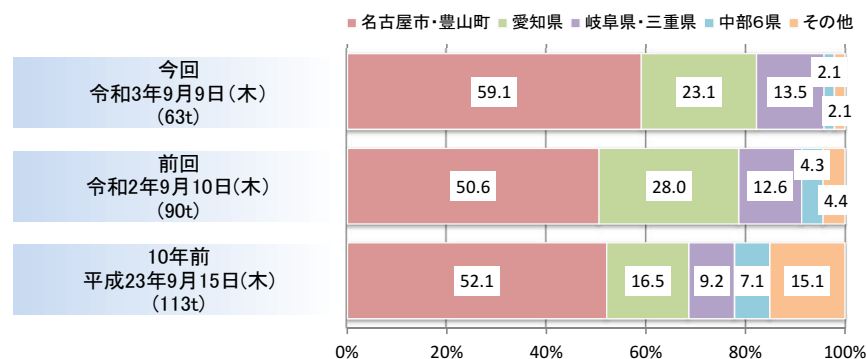
○10年前も今回も、名古屋市・豊山町及び愛知県への供給が約8割となっている。
○名古屋市・豊山町への供給割合が若干減っている。

○ 生鮮水産物の供給先業種



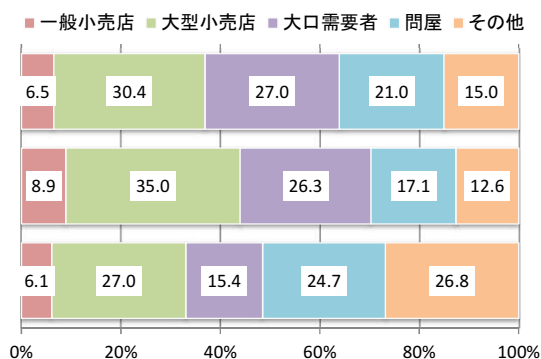
○10年前と比較して、一般小売店への供給の割合が減っており、大型小売店への供給の割合が増えている。

□ 冷凍水産物の供給地域



○10年前と比較して、名古屋市・豊山町及び愛知県への供給の割合が増えている。

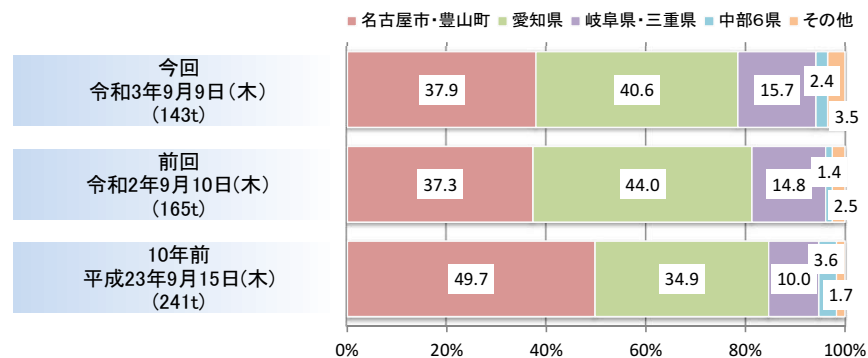
○ 冷凍水産物の供給先業種



○生鮮と比較し、一般小売店や大型小売店への供給の割合が低く、大口需要者への供給の割合が多い。

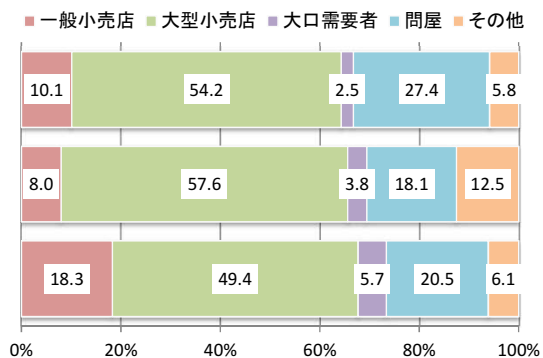
水産物(生鮮・冷凍・加工)の供給地域及び供給先業種

□ 加工水産物の供給地域



○10年前も今回も、名古屋市・豊山町及び愛知県への供給が約8割となっている。

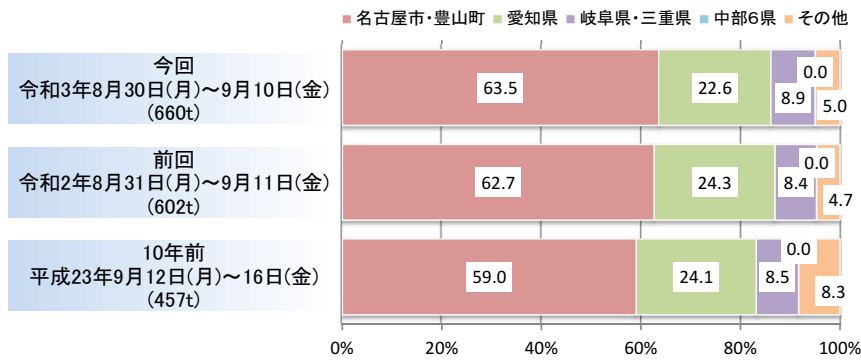
○ 加工水産物の供給先業種



○10年前と比較し、一般小売店への供給の割合が減り、問屋への供給の割合が増えている。

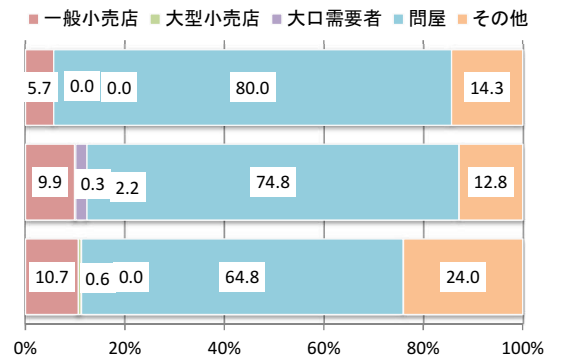
食肉(牛・豚)の供給地域及び供給先業種

■ 食肉の供給地域



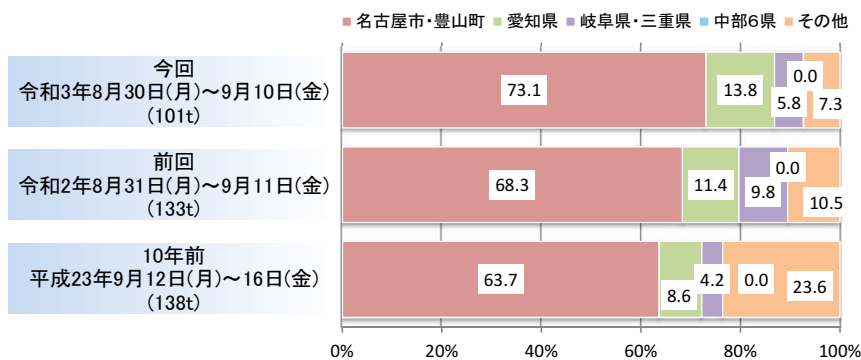
○10年前も今回も、名古屋市・豊山町への供給が約6割となっており、愛知県内への供給で8割を超える。

● 食肉の供給先業種



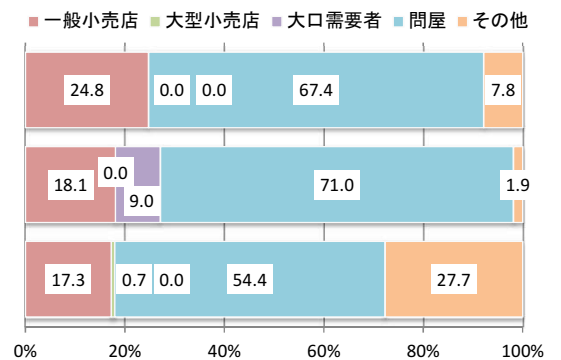
○10年前と比較して、一般小売店への供給の割合が減り、問屋への供給の割合が増えている。

□ 牛の供給地域



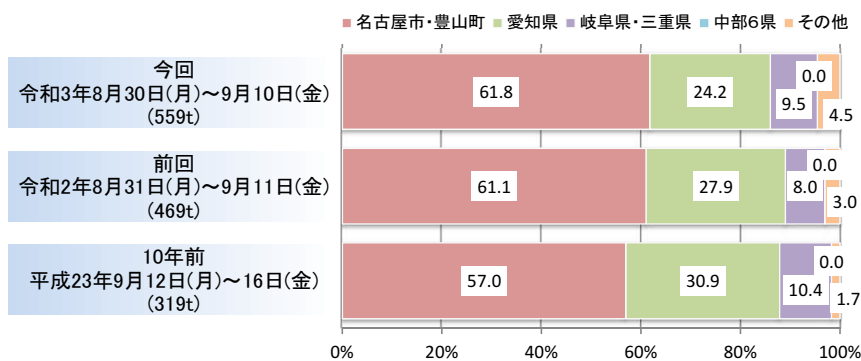
○豚と比較して、より名古屋市・豊山町への供給の割合が大きい。

○ 牛の供給先業種



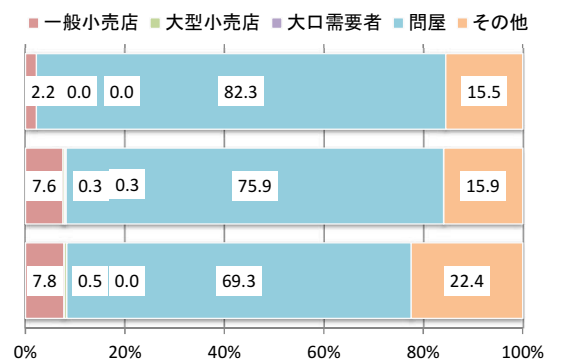
○10年前と比較して、一般小売店への供給の割合が増えている。

□ 豚の供給地域



○10年前も今回も、名古屋市・豊山町及び愛知県内への供給で8割を超える。

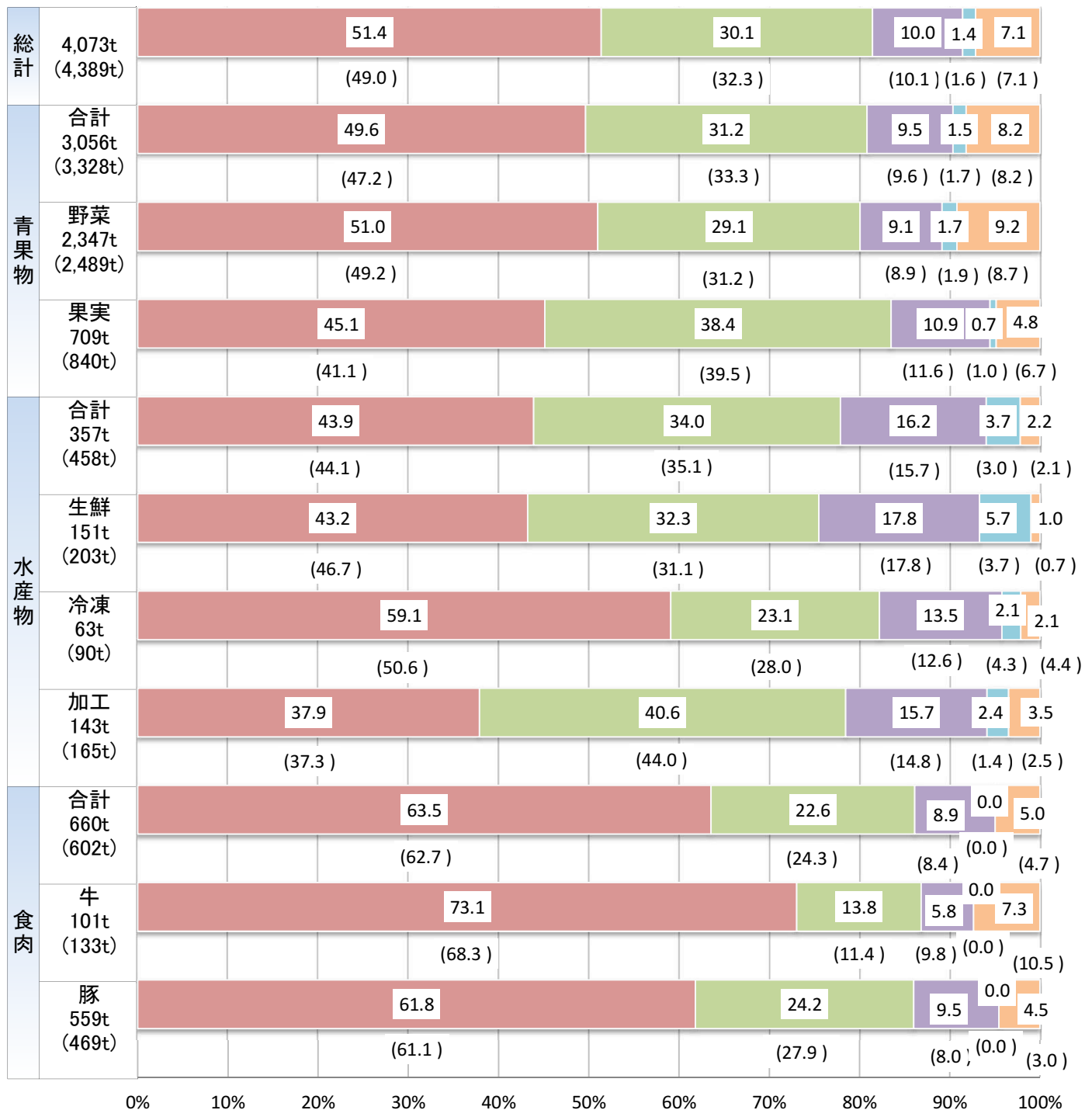
○ 豚の供給先業種



○10年前と比較して、一般小売店への供給の割合が減り、問屋への供給の割合が増えている。

品目別の供給地域の比較

■ 名古屋市・豊山町 ■ 愛知県 ■ 岐阜県・三重県 ■ 中部6県 ■ その他

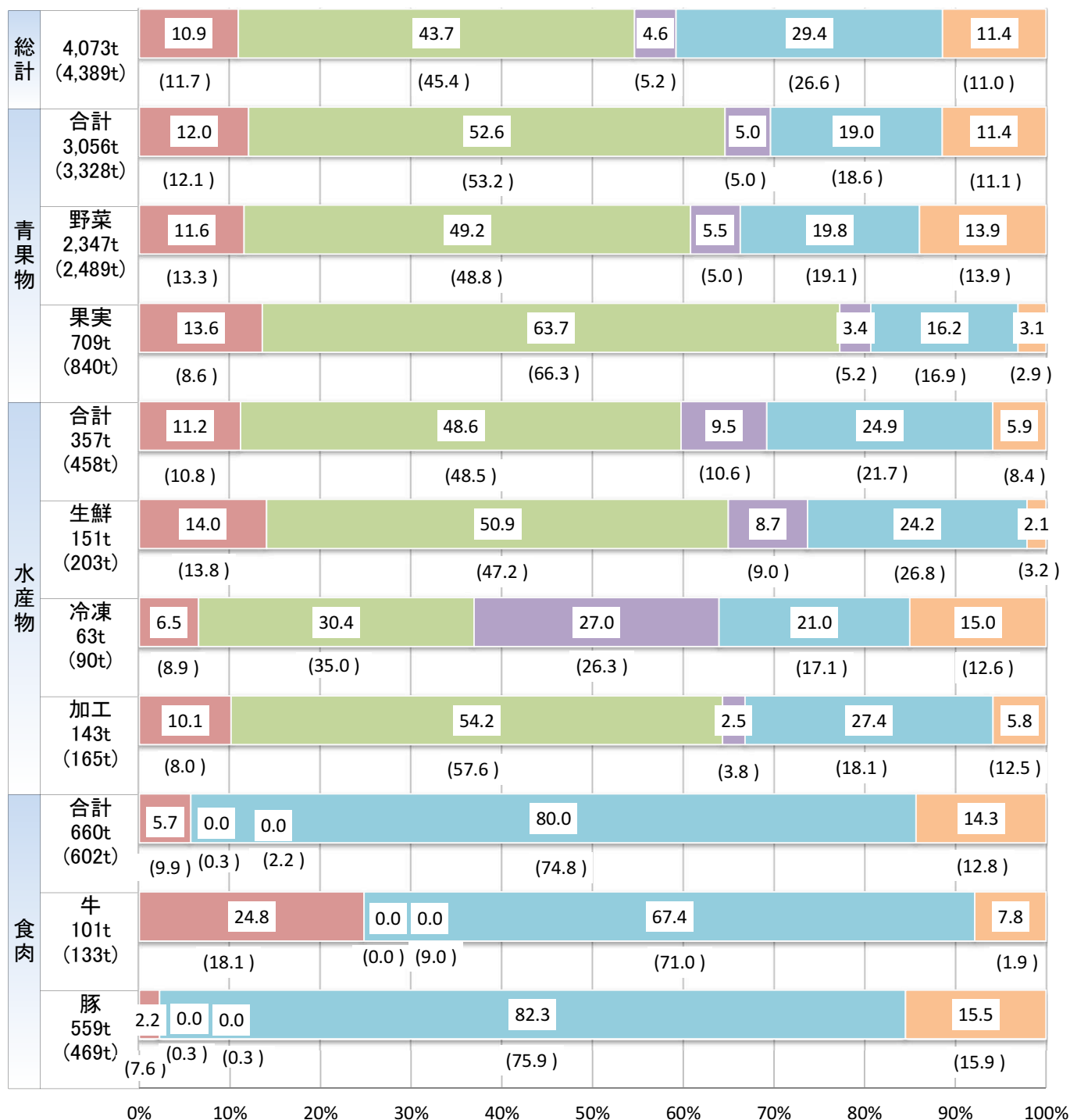


注：() 内数値は前回〔調査日：青果物・水産物 令和2年9月10日(木)、食肉 令和2年8月31日(月)～9月11日(金)〕

- 青果物の供給先は、「名古屋市・豊山町」と「愛知県」で合わせて約8割となっている。
- 水産物の供給先は、「名古屋市・豊山町」と「愛知県」で合わせて約8割となっており、特に冷凍水産物においては「名古屋市・豊山町」の割合が高く、加工水産物においては「愛知県」の割合が高い。
- 食肉の供給先は、「名古屋市・豊山町」の割合が高く、特に牛が約7割と高くなっている。

品目別の供給先業種の比較

■ 一般小売店 ■ 大型小売店 ■ 大口需要者 ■ 問屋 ■ その他

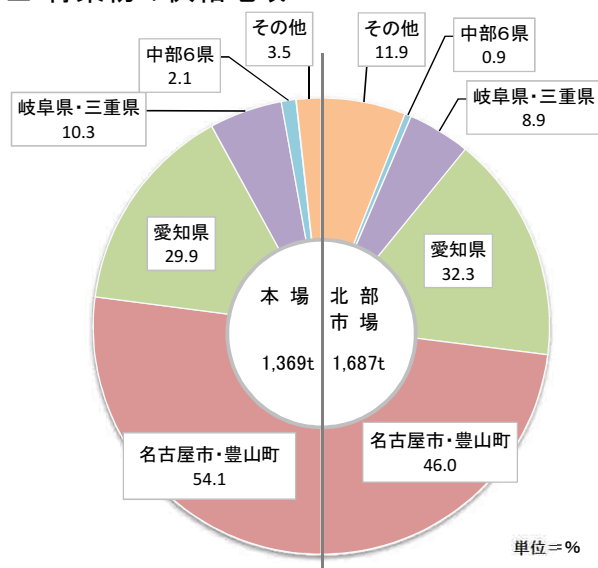


注: () 内数値は前回〔調査日: 青果物・水産物 令和2年9月10日(木)、食肉 令和2年8月31日(月)~9月11日(金)〕

- 供給先業種の割合は、青果物・水産物とも「大型小売店」の割合が最も高く、次いで「問屋」の順となっている。
- 食肉は、「問屋」の割合が最も高く8割以上となっている。また、青果物・水産物と違い、「大型小売店」「大口需要者」への供給の割合は著しく低い。

青果物の市場別の供給先

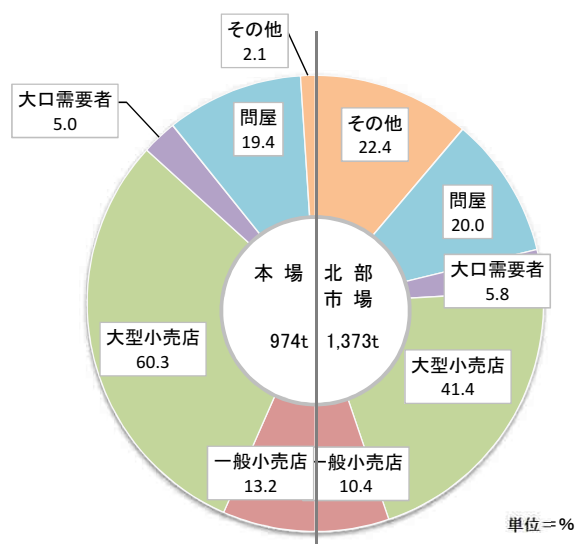
■ 青果物の供給地域



○ 青果物の供給地域の割合は、「名古屋市・豊山町」と「愛知県」を合わせて、本場・北部市場ともに約8割を占めている。

○ 本場では、北部市場と比較して、「名古屋市・豊山町」の割合が5割超と高くなっている。

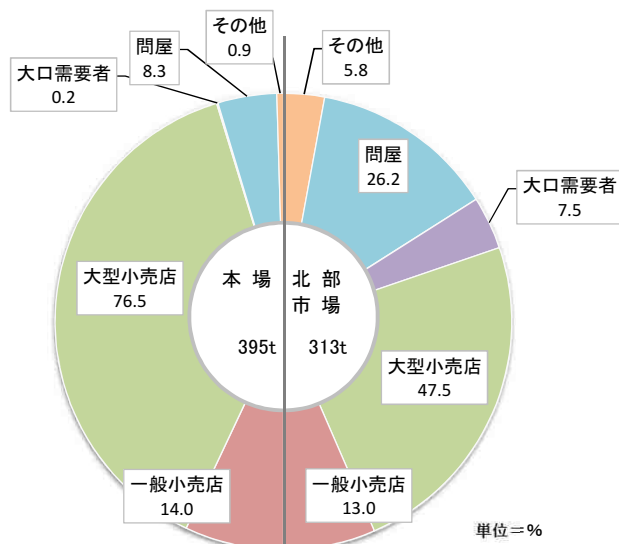
○ 野菜の供給先業種



○ 野菜の供給先業種の割合は、本場では「大型小売店」が約6割と高く、次いで「問屋」「一般小売店」の順となっている。

○ 北部市場では「大型小売店」の割合が約4割、次いで「その他」、「問屋」の順となっている。

○ 果実の供給先業種

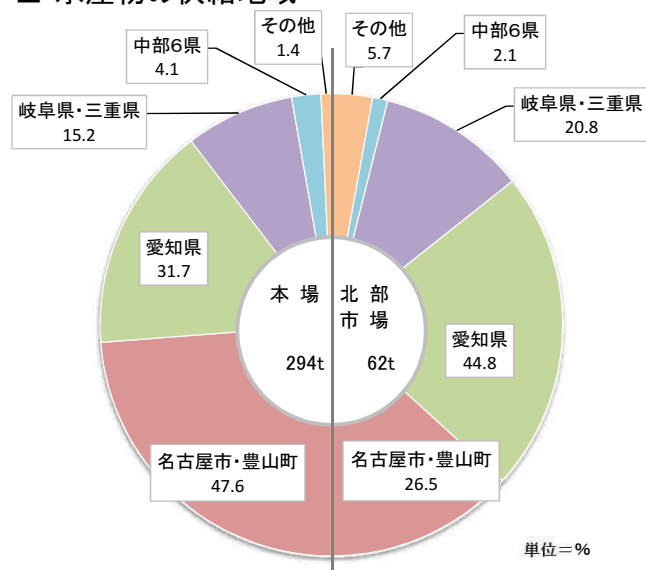


○ 果実の供給先業種は、本場・北部市場とも「大型小売店」の割合が、一番高い。

○ 本場では「大型小売店」の割合が約8割を占めており、北部市場と比較して高くなっている。

水産物の市場別の供給先

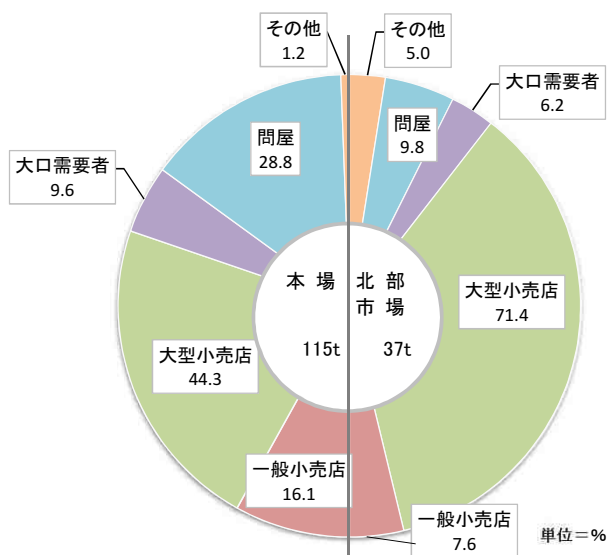
■ 水産物の供給地域



○ 水産物の供給地域の割合は、本場では「名古屋市・豊山町」が最も高く、「愛知県」と合わせ約8割を占めている。

○ 北部市場では「名古屋市・豊山町」より「愛知県」の割合が高い。

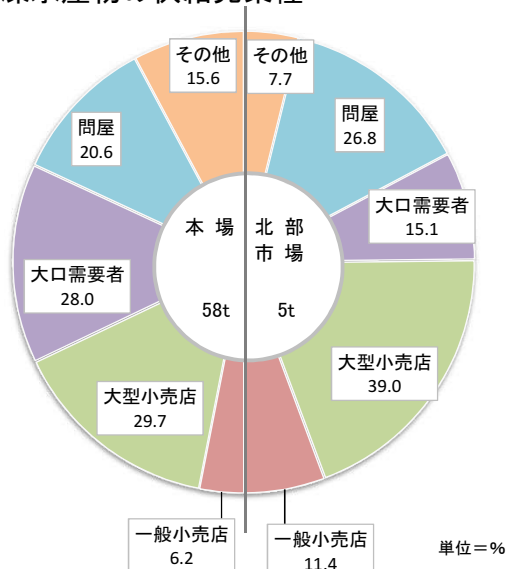
○ 生鮮水産物の供給先業種



○ 生鮮水産物の供給先業種の割合は、本場・北部市場ともに「大型小売店」が最も高い。

○ 北部市場では「大型小売店」の割合が7割を超え、本場と比較して高くなっている。一方で、「一般小売店」の割合は低い。

○ 冷凍水産物の供給先業種

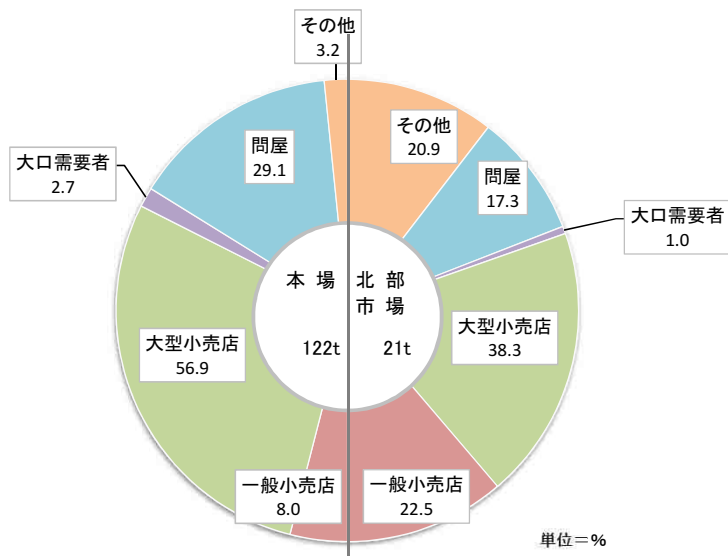


○ 冷凍水産物の供給先業種の割合は、本場は「大型小売店」が最も高く、次いで「大口需要者」となっている。

○ 北部市場では「大型小売店」の割合が最も高く、次いで「問屋」となっている。

水産物の市場別の供給先

○ 加工水産物の供給先業種

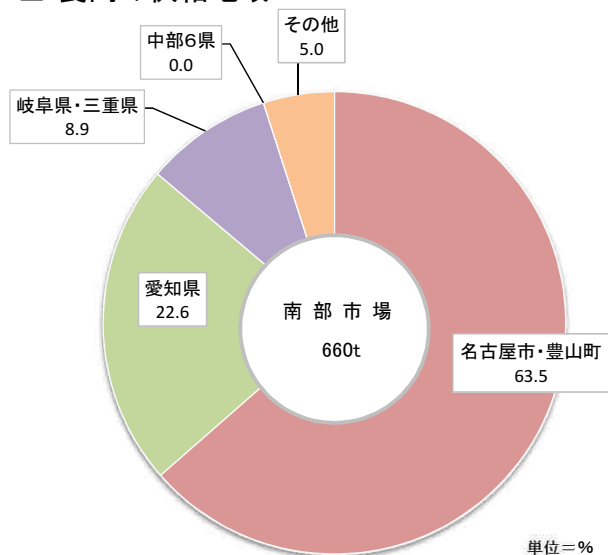


○ 加工水産物の供給先業種の割合は、本場・北部市場ともに「大型小売店」が最も高い。

○ 本場では「問屋」が約3割で、北部市場と比較して高くなっている。

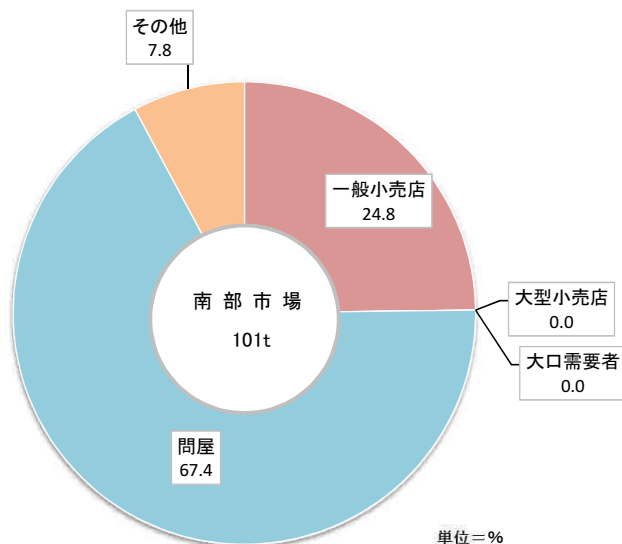
食肉の供給先

■ 食肉の供給地域



○ 食肉の供給地域の割合は、「名古屋市・豊山町」の割合が6割以上を占めており、「愛知県」を合わせると約9割を占めている。

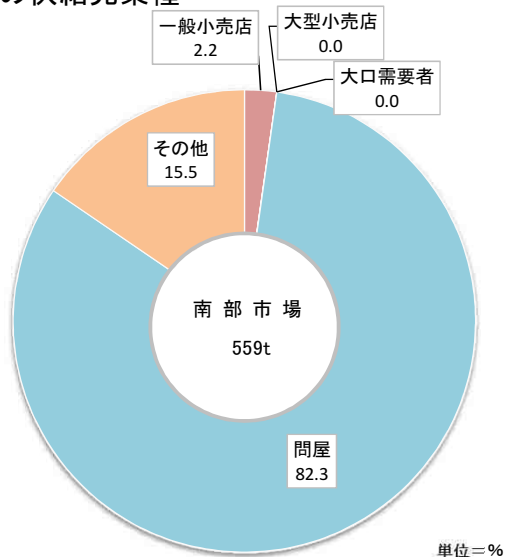
○ 牛の供給先業種



○ 牛の供給先業種は、「問屋」の割合が最も高く、約7割を占めている。

次いで「一般小売店」で、2業種で9割超を占めている。

○ 豚の供給先業種



○ 豚の供給先業種は、「問屋」の割合が最も高く、8割以上を占めている。

名古屋市中央卸売市場流通量推計調査報告書（第 11 回）
令和 3 年 12 月 発行

編集・発行 名古屋市経済局商業・流通部市場流通室
名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号
電話（052）972－2439
Fax （052）972－4138